

千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度資源評価

マダコ



- 漁獲の多くは銚子・九十九里～外房で、たこつぼ、沖合底びき網などで漁獲される。
- 広く回遊する群と地先に生息する群が存在し、広く回遊する群が漁獲量の大半を占める。
- 漁獲盛期は12月～4月。

資源評価

水準：中位	動向：横ばい

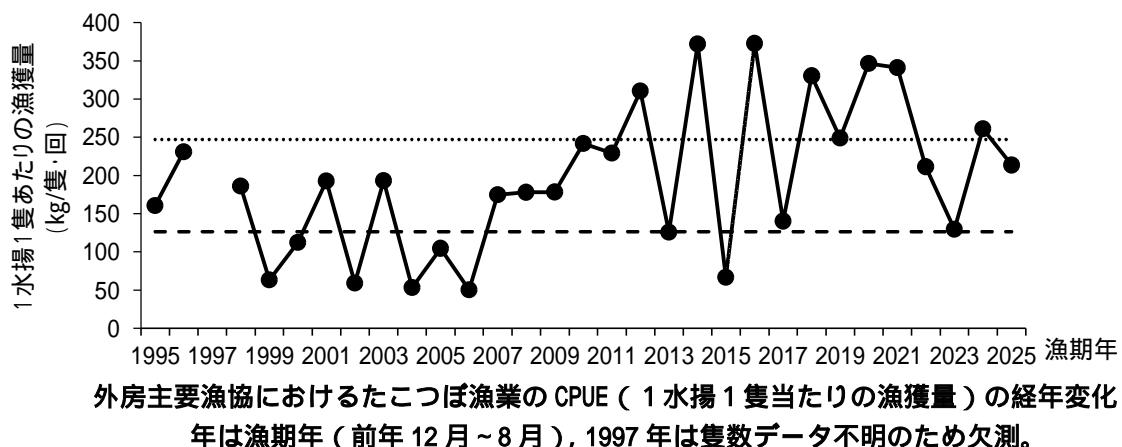
注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)

から四分位数により評価した。

資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の指標値

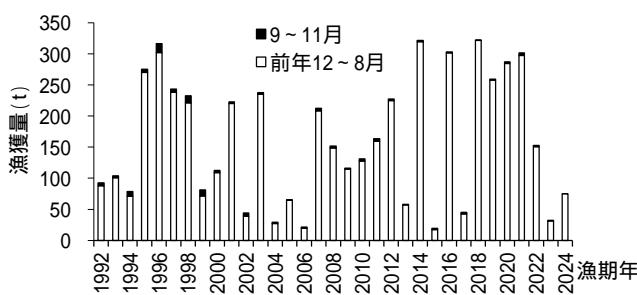
- 資源水準及び動向は、外房主要漁協におけるたこつぼ漁業の1995年以降のCPUE(1水揚1隻当たりの漁獲量)で判断した。
- 変動が激しいが、2025年の資源水準は過去30年間で中位、最近5年間の資源動向は減少傾向にある。



外房主要漁協におけるたこつぼ漁業のCPUE(1水揚1隻当たりの漁獲量)の経年変化

年は漁期年(前年12月～8月), 1997年は隻数データ不明のため欠測。

漁獲量



千葉県におけるマダコ漁期年別漁獲量の経年変化

(千葉県調べ。年は漁期年：前年12月～11月)

・千葉県全体の漁獲量は年ごとに大きく変動している。

・漁獲量は資源量の他、海況による回遊経路や時期の変動、茨城県以北の漁獲量等に影響を受けて変動すると考えられる。

資源管理の取組

- たこつぼ漁業の漁業許可方針で、海域ごとに操業隻数・期間が定められている。